

□議員名：長谷川知司

1 中学生海外派遣事業について

論点	市内各中学校から1名選考となっているが、中学校毎の対象生徒数に最大1対14.6という差があり、不公平な選考となっていないか。 また、いろんな事情で市外の中学校に通っている生徒に、応募する権利がないのは、同じ市民なのに不公平である。
回答	これから十分検討していきたい。

2 プロポーザル方式について

論点	プロポーザルの目的は、高度な技術、専門的な知識、豊かな経験等を必要とする業務に対し、最適な業者選考の一手法であるが、現ガイドラインでは審査会制度や公表制度等の取り扱いが明記されていないため、プロポーザル本来の目的がなされていない。
回答	審査については、より専門的な外部委員を招へいすることや、デザイン的な要素が多い業務は、実施設計までの一貫した業務委託のプロポーザルが望ましいので、これらを含めて監理室から担当課にアドバイスしていきたい。

3 市内公民館の職務内容と体制について

(1) 開館時間等での違い

論点	旧小野田市側と旧山陽町側とで、休日の開館時間に違いがあるが、開館時間を同じにしないで住民ニーズがわかるのか。
回答	いつの地元ニーズなのか時期不明だが、地域の利用者のニーズによるものである。

(2) 各館長、各主事の待遇の違い

論点	同一労働、同一賃金ではないのか。 賃金の違うことをきちんとフォローする体制があるのか。 5年も待たず、積極的な解消を行う必要がある。
回答	今年度、委託館制度を見直した過渡期の違いであり、順次見直していきたい。最長5年の場合がある。

(3) 今後の公民館のあるべき姿

論点	各公民館の運営協議会に全て任すのではなく、教育委員会からも積
----	--------------------------------

	極的にフォローし、地域活性化への気配り、目配りを行うことが必要である。
回答	教育委員会からの情報は各公民館に全て出し、指導していて、要望等についても対処している。 取り急ぎ新しくなる厚狭公民館について、地元の運営協議会と協議を進めたい。

4 防災・危機管理及び公平性について

論点	市民館入口は、避難経路であるが、自転車置き場がないため、入口に自転車が置かれて、避難経路を妨害する形になっている。 市内の他の公民館には全て屋根付きの自転車置き場が確保されている。移設可能な自転車置き場でも良いので、設置してみてはどうか。
回答	事業の主催者に、避難経路の妨げとならないように指導し、そのことの協力も得ている。 担当部署としては予算要求を行っているが、諸事情で実現に至っていない。